第38講　朝鮮問題と日清戦争

1　朝鮮問題

全体的背景＝貿易開始による品不足･物価高が招いた民衆の窮乏と兵士の不満。

①壬午軍乱〔壬午事変〕(1882年)

A　背景

日朝修好条規締結（1876年）後，**親日的開国派**である**閔妃**（国王高宗の妃）と**親清的保守派**である**大院君**（国王の父）との対立。

B　経過

政権を掌握する閔妃一派が，日本にならい洋式軍隊整備に着手。

↓↓↓

大院君一派，旧式軍隊と結び軍事クーデタを決行（1882年）。

↓↓↓

民衆も呼応し漢城の日本公使館を焼打ち，日本人軍事顧問らを殺害し，政権を一時的に掌握。

↓↓↓

日本は猛烈に抗議し軍隊を派遣。清国も宗主権を主張して出兵し反乱を鎮圧，その後，清は大院君を天津に拘禁。

C　結果

日朝間で**済物浦条約**を締結（1882年）。朝鮮側が謝罪，賠償金・公使館守備兵駐留権を獲得した。

↓↓↓

しかし，清国が朝鮮への宗主権強化をはかり，**閔妃一派は親清派へと政策を転換**。日本の勢力は大きく後退した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②甲申事変（1884年）

A　背景

壬午軍乱後，**親日的開国派**である**独立党**（**金玉均**・朴泳孝ら）と**親清的保守派**である**事大党**（**閔妃一派**）の対立。

B　経過

ヴェトナム支配をめぐる**清仏戦争**における清国敗北を契機として，**日本公使館の支援を受けた独立党が，クーデタを決行**（**1884年**）。

↓↓↓

清国軍の攻撃により鎮圧，日本公使館も焼き払われ，金玉均らは日本に亡命。

↓↓↓

日本政府は朝鮮に対し，猛烈に抗議。

C　結果

日朝間で**漢城条約**を締結（1885年）。朝鮮側が謝罪，賠償金を獲得。

↓↓↓

朝鮮をめぐる日清両国の対立が決定的となった。

---

③天津条約（1885年）

甲申事変（1884年）後の日清両国の武力衝突を避けるため締結。

A　調印

日本全権＝伊藤博文　　**清国全権＝李鴻章**

B　内容（全３条）

あ　**日清両国の朝鮮からの撤兵**

い　日清両国の朝鮮への軍事顧問の派遣停止

う　**日清両国の朝鮮への出兵時における事前の相互予告義務**

C　結果

あ　日本の朝鮮における勢力は著しく後退

☆しかしその後も，大豆・米の大量買占めなど経済的進出は続く。

い　日本は清国戦に備え，軍備拡張に全力を投入。

☆**師団**制の導入，徴兵令改正，**海軍軍令部**の設置など。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④国内世論の動向

日本人のアジア観が変化，アジア蔑視・国権的風潮が強まる。

A　背景

あ　壬午軍乱・甲申事変の結果，朝鮮における日本情勢の悪化。

い　清仏戦争における清国の敗北（1884年）

う　近代化において一歩先んじたという優越感

☆民権派も国権論的傾向へ。

B　経過

1885年　「**脱亜論**」（**福沢諭吉**が新聞「**時事新報**」に発表）

☆“アジア諸国の連帯”から“文明の敵，清・朝鮮打倒”へ。日本も欧米列強なみに東アジア分割に参加する事（＝“**脱亜入欧**”）を妥当とする国権論を展開。

大阪事件

☆**大井憲太郎**ら旧自由党左派による朝鮮改革計画。

1886年　長崎清国水兵暴行事件

1889年～　**防穀令事件**

☆朝鮮政府が凶作を理由に大豆・米の対日輸出を禁止，日本商人が打撃を受ける。

☆日本政府は**防穀令**の廃止と禁輸中の損害賠償を請求，1893年に最後通牒を突きつけて実現したことから，朝鮮民衆の対日感情は極めて悪化。

1890年　**第一議会**における山県有朋首相の“**主権線（国境）・利益線（朝鮮）**”演説

☆政府は軍備拡大予算案を議会に提出。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈*Note*〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　日清戦争

①背景

A　**朝鮮支配をめぐる日清両国の対立**

B　日本の軍備拡張と清国との対立（東アジアの覇権（はけん）争い）

---

②契機

1894年５月，**甲午（こうご）農民戦争〔東学党（とうがくとう）の乱〕**の勃発

☆李（り）朝の封建支配への反発から，日本や欧米の侵入に対する反対へと発展。
　全琫準（ぜんほうじゅん）を中心に減税と排日を要求。

↓↓↓

乱の鎮圧に失敗した朝鮮の閔妃政権が，清国に救援を要請。清国は大軍を派遣する一方で，天津条約の規定に従い日本に出兵を通告。

↓↓↓

日本も居留民（きょりゅうみん）保護を口実に出兵，農民軍はこれをみて急ぎ朝鮮政府と和解。

↓↓↓

日本の朝鮮内政改革提案を清国が拒否，日清開戦は必至（ひっし）となる。

---

③開戦（直前に日英通商航海条約調印）

1894年７月25日，豊島沖（ほうとうおき）の海戦⇒８月１日，宣戦布告

---

④経過

大本営（だいほんえい）を東京に設置し，開戦後に広島に移転。以後日本が連戦連勝。

A　陸軍
　平壌（へいじょう）の戦い⇒遼東（りょうとう）半島の大連（だいれん）・旅順（りょじゅん）占領⇒遼東半島完全占領

B　海軍
　黄海（こうかい）の海戦⇒山東（さんとう）半島の威海衛（いかいえい）攻撃により，清国の**北洋（ほくよう）艦隊**は全滅。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤日本の勝因

A　日本

村田銃に統一された装備（陸軍）と高速俊敏（しゅんびん）な艦隊（海軍），行き届いた訓練，国論の統一，国際情勢の有利な展開（＝イギリスの好意的な態度）など

B　清国

鉄砲の新旧混合（陸軍）と旧式の艦隊（海軍），行き届かない訓練，国論の不統一，国際情勢の不利な展開など

---

⑥結果⇒下関（しものせき）条約（1895年）

A　調印

日本全権＝伊藤博文，陸奥宗光（むつむねみつ）　　清国全権⇒李鴻章

B　内容

あ　**清国は朝鮮の独立を承認（＝清国は宗主権を放棄）**

い　**清国は遼東半島・台湾・澎湖（ほうこ）諸島を日本に割譲（かつじょう）**

う　**清国は賠償金２億両（テール）〔約３億1000万円〕を日本に支払う**

え　清国は長江（ちょうこう）沿岸の**沙市（さし）・重慶（じゅうけい）・蘇州（そしゅう）および杭州（こうしゅう）**の４港を新たに開市（かいし）・開港

お　租界（そかい）における治外法権の承認

C　影響

あ　**朝鮮市場（しじょう）を確保，大陸進出の第一歩を踏み出す。**

☆しかし，ロシアを筆頭に列国の日本に対する警戒心は強まる。

い　**賠償金により金本位制が確立（1897年，貨幣法）**

う　**琉球の帰属問題が解決**

え　日清通商航海条約（1896年）の締結

☆日本優位の不平等条約，清国への経済的進出も可能となる。

☆日本人の間に中国人蔑視（べっし）の風潮が強まる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3　三国干渉（1895年）

下関条約締結直後，ロシア・フランス・ドイツの三国が「朝鮮の独立を有名無実に為す」ことを理由に，**遼東半島の清国返還を日本に要求。**

①背景

A　**ロシア**

自らの満州（中国東北部）進出に，日本の遼東半島領有は脅威となるため。

B　フランス

ロシアとの同盟関係（1891年，露仏同盟）のため。

C　ドイツ

ロシアの関心をヨーロッパから逸らし，併せて中国分割の足場を得るため。

---

②経過

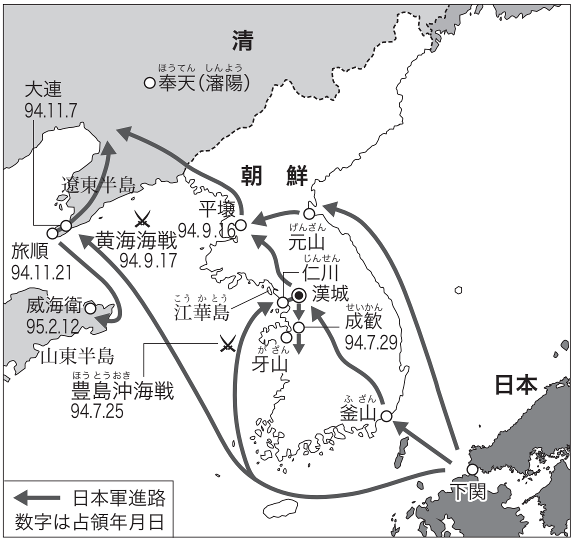
拒否・受諾・列国会議の三者択一を迷ったが，**還付金3000万両（約4500万円）**を代償に，やむなく受諾。

---

③結果

国民の反ロシア意識が高揚。以後は**“臥薪嘗胆”**を合言葉に，軍備拡張を基調とする挙国一致の戦後経営にあたることとなる。

☆ナショナリズム〔国家主義〕の高揚とアジア蔑視風潮の高まり。



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④台湾・澎湖諸島の経営

1895年　**台湾総督府**を設置，初代総督に樺山資紀(かばやますけのり)を任命。

☆一部の漢民族や，島民〔高砂族(たかさごぞく)〔高山族(たかさんぞく)〕〕の強固(きょうこ)な反対（「台湾民主国」の独立をはかる）を武力で鎮圧。

1896年　台湾総督府条例を制定

☆総督に陸海軍将官を任命，軍政を実施。

1897年　台湾総督府官制を制定

☆軍政を廃止し民政を実施。以後は総督児玉源太郎(こだまげんたろう)・民政局長後藤新平(しんぺい)の下(もと)で，植民地経営は軌道(きどう)に乗る。

☆ただし，貧農などの民衆は抵抗を続けたので，日本は徹底的に弾圧した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第38講　確認テスト

1　1876年の日朝修好条規締結後，親清的保守派であった国王高宗の父とは？

①　李鴻章　②　大院君　③　金玉均　④　袁世凱

2　1882年に発生した壬午軍乱の結果，締結された条約とは？

①　南京条約　②　済物浦条約　③　漢城条約　④　天津条約

3　1884年，独立党が事大党に対し仕掛けた甲申事変の契機となった事件とは？

①　アロー戦争　②　太平天国の乱

③　清仏戦争　④　北清事変

4　1885年，天津条約の清国全権李鴻章に対する日本全権とは？

①　伊達宗城　②　榎本武揚　③　黒田清隆　④　伊藤博文

5　1885年，福沢諭吉が「脱亜論」を掲載した新聞とは？

①　郵便報知新聞　②　東京日日新聞

③　時事新報　④　万朝報

6　1885年，旧自由党の大井憲太郎・景山〔福田〕英子らが朝鮮に渡航しようとした事件とは？

①　岐阜事件　②　名古屋事件　③　大阪事件　④　静岡事件

7　1889年，朝鮮政府が凶作を理由に大豆・米の対日輸出を禁止した法令を何というか？

①　地租改正条例　②　防穀令

③　土地収用令　④　小作調停法

8　1894年，日清戦争開戦の直接契機となった事件とは？

①　清仏戦争　②　甲午農民戦争〔東学党の乱〕

③　義和団事件　④　日英同盟締結

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　日清戦争開戦直前，最恵国待遇の相互平等化・法権回復に応じた国とは？

①　イギリス　②　フランス　③　アメリカ　④　ロシア

10　日清戦争の緒戦となる海戦が行われた地名とは？

①　豊島沖　②　黄海　③　威海衛　④　日本海

11　1895 年に締結された，日清戦争の講和条約とは？

①　南京条約　②　北京条約　③　天津条約　④　下関条約

12　11 で清が日本に割譲することとなった植民地として，不適切なものを一つ選べ。

①　遼東半島　②　台湾　③　澎湖諸島　④　山東半島

13　11 の賠償金により，1897 年に貨幣法が制定され確立した制度とは？

①　金銀複本位制　②　銀本位制

③　金本位制　④　管理通貨制

14　1895 年の三国干渉の“三国”として不適切なものを一つ選べ。

①　ロシア　②　フランス　③　ドイツ　④　アメリカ

15　台湾総督府の初代総督となった軍人とは？

①　樺山資紀　②　児玉源太郎　③　田健治郎　④　寺内正毅

解答

1	②	2	②	3	③	4	④	5	③
6	③	7	②	8	②	9	①	10	①
11	④	12	④	13	③	14	④	15	①

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。